

日時 令和5年(2023年)2月21日(月)

午後7時～午後8時30分

場所 湖南省役所西庁舎3階大会議室

出席委員 9人

欠席委員 3人

1 開会

会議の成立：委員の過半数の出席のため成立

2 あいさつ

会長：(省略)

事務局：次に湖南省教育委員会、松浦教育長からご挨拶申し上げます。

教育長：

皆様こんばんは。

ご多用の中、そしてまた寒い中お集まりいただきまして、ありがとうございます。

日頃は本市教育行政につきまして、格別のご理解とご協力を賜っておりますことを心より感謝申し上げます。

皆様には、社会教育委員、生涯学習審議会委員として大変お世話になっております。市民の立場からの広い声や意見を社会教育行政に反映するという、大変大事な役割を担っていただいております。

本日は第2回の会議ということでよろしく申し上げます。

先ほど会長がご挨拶されましたけれども、この度、湖南省立甲西中学校に夜間中学を令和7年4月に開設するという運びになりました。来年度とそして令和6年度を準備期間として取り組んでいきます。

夜間中学は戦後の混乱期の中で、生活困難な困窮などの理由から、昼間に就労または家事手伝い等を余儀なくされた学齢生徒に義務教育の機会を提供することを目的として設置されました。

現在では義務教育を終了しないまま、学齢期を経過した方や不登校など様々な事情により、十分な教育を受けられないまま、中学校を卒業した、いわゆる形式卒業者、それから本国や我が国で、義務教育を終了していない外国籍の方など、様々な背景を持つ生徒の多様な学びを保障しています。

湖南省教育におきましては、たて・よこ・ななめに隙間なくどの子どもももらさない支援体制、そして甲西中学校の、正面に掲げてありますけれども、命・人権・一人ひとりが世の光に、ということで、この一人ひとりについては、子どもだけでなく、大人も含むというふうに考えております。

現在決まっていますことは令和7年の4月に、既存の学校に学級を開設する併設校型夜間中学。そして、甲西中学校、これは草津線の甲西駅下車すぐのところということで、

通学対象は滋賀県下全域でございます。

ついては、その準備を滋賀県教育委員会との協議により進めて参ります。

毎年教育方針で触れていますが、湖南市では、子どもたちが生涯にわたってみずから学習し、自己の能力を高め、様々な主体と協働し、地域固有の魅力や特色を改めて見詰め直すことで、社会の維持発展に繋がる力をつける教育に取り組んでいます。これは私たち大人にも必要なことではないでしょうか。

委員の皆様におかれましては、社会教育、生涯学習行政を進めていくうえで、市民としての感覚、行政にはない視点からご意見をいただきますよう、お力添えをどうぞよろしく願いいたします。

3 議事

会長：

それでは会議の進行をいたします。

まず次第の方の議事の1番、報告事項ということで、滋賀県社会教育連絡協議会理事会、それと近畿地区社会教育研究大会滋賀大会第1回実行委員会について、県の理事でもあります副会長の方から報告の方、よろしく願いいたします。

(1) 報告事項

副会長：

それでは先日2月7日に県庁の方で会議がありましたので、その報告をさせていただきます。

令和5年度に近畿地区社会教育研究大会は滋賀を会場として行われることになりましたので、その実行委員会の第1回目ということで、二つ会議がありました。

まず、理事会での報告としまして、令和5年度滋賀県社会教育委員連絡協議会研修会開催要項について報告させていただきます。6月14日水曜日に研修会が予定されております。皆さんこれ1回目の時、このハンドブック、お手元にありましたでしょうか。昨年度、社会教育委員滋賀県版活動ハンドブックというのができまして、今年から社会教育委員になられたかたたちが、一体、社会教育委員ってどういうものなのか、何をしたらいいのってということで、わかりやすいようにハンドブックができました。

これについての研修が今年6月14日にハンドブックを使いまして、講演されます。

新しく委員になられたかた、それから継続してくださっているかたも、この研修に参加されて、社会教育委員について考える時間になればいいかなと思いますので、まだ先の話ですが、予定していただいて、たくさん参加して、研修で他の市町の委員さんとも交流しながら、よい時間を過ごしていただければと思いますので、よろしく願います。

それから二つ目ですが、実行委員会の報告をさせていただきます。

令和5年度近畿地区社会教育研究大会滋賀大会について、実行委員会で話し合いました。

決定したことは、「地域への愛着と誇りを育てる社会教育」が、滋賀大会のテーマとして決まりました。それから、分科会をどの府県が担当するかということも決まりました。

ただ、日程はまだはっきり決まっておらず、これは3月の初旬に決まるということ聞いております。講師のかたも日程が決まらないので、まだ決まっておりませんが、何名か、実行委員会でいろいろ話し合っただけ候補をあげておりますので、後日決定されることと思っております。

滋賀で行われるということですので、皆さんも日程は決定次第、またこちらのほうにも、参加していただきますよう、よろしく申し上げます。

以上で報告を終わります。

(2) 審議会のテーマについての意見交換

会長：

次に、「(2) 審議会のテーマについての意見交換」に移りたいと思います。

先ほどご報告いただきましたように、近畿地区社会教育研究大会（滋賀大会）の研究主題は、「地域への愛着と誇りを育てる社会教育」です。この研究主題についての湖南市での取り組みについて、現状と課題として考えていることを、小グループで話し合いをして、今日は課題の共通部分まで見つけ出します。次回の会議で課題解決のための方策を話し合いをします。小グループに分かれて、課題を付箋に書いていき、貼っていったあとで話し合い、その後グループで出た意見を発表いただきたいと思っております。

それでは、話し合いをお願いします。

(小グループに分かれて話し合い約40分程度)

会長：

ではこれから、発表をお願いします。1班から順番にお願いいたします。

○意見発表

1班：

- ・若い人かたのコミュニティへ入る入り口がみつけにくい。
- ・地域をつなぐもの、伝統行事の衰退により、地域の力を弱めている。
- ・伝統行事があっても参加しない。若い人の負担になっている。
- ・まちが本当に好きで集まってくるような地域、伝統行事のないところは代わるものかどうやってつくっていくか。
- ・地域の文化や歴史、習慣の伝承がない。地域への愛着や誇りがうまれていくように、地域で独自に持っているものをどのようにアピールしていくか。
- ・地域での、市全体、年齢的もいろいろな人たちが、助けたり、応援したり、支援したりする、ことができていないのではないかと。できるように、どのようにしていくか。
- ・学校の広報紙は地域へ回覧されて情報はあっても、学校が地域に何を求めているのか、困っていること、助けてほしいことは、地域の一人ひとりには伝わっていないのではないかと。学校と地域のつながりをどのようにしていくか。
- ・地域への愛着と誇りは、その地域が大好きで大好きで、ここがいいって思える気持ちがひとりずつ持つこと。
- ・お祭りといった行事のこと。学校と地域がもう少し繋がっていく。若い人のコミュニティの入口のこと。

会長：

ありがとうございました。では次に、2班から発表をお願いします。

2班：

・コロナ禍であまり行事ができなかった。行事へ時間のある人がぱっと集まって参加というのはあるけど、参加の年代にはむらがあり、30歳代や40歳代の参加が無いように思う。顔の見えるコミュニティができていないのでは。

・地域の助け合い、助けてもらったから地域に返そう、という気持ちや育ちつていうのを、育てていくことが非常に大切。

・その育みが子どもたちの学びや育ちにつながり、大人になってから地域に入ってきた人々も一緒になって参加してもらい、そこで育み学び、地域を好きになってもらうことも必要。

・話をしたり、コミュニケーションを取っていくには、人が集まらないといけない。無料でいろんな世代のかた、多く集まって交流ができるようなそういう場が、一定必要。

・子どもや高齢者が来ていただいたら、参加の無い30歳代・40歳代の人、顔や生活実態も何となく見えてくるのではないか。

・高齢者のかたや今までたくさんいろんな知識を持って地域の良いところを知っていらっしゃるかたが、深く関わっていただき、その知識や地域の良いところを、実感として教えてくだされば、それも良い学びになるのでは。

・「あいさつ運動」で、子どもたちも、挨拶を進んですることは難しい。

やはり挨拶はコミュニティや、コミュニケーション取るときに第一。

自分から進んで物事の第一歩を踏み出せるような人間の形成ってというのは非常に大切。

・自分はお客さんとして参加するような場合は、結構集まってくださる。そうではなくて、自分がこれを作るんだ、自分がここで一つの起点を作っていくんだっていう考え方ができるように、子どもも大人も前向きな姿勢をやっぱり取っていける社会にしていかなければいけない。

・そういう姿勢も含めて、どこにアプローチしたらどういうふうなアドバイスがもらえて、というチャンネルの繋ぎ合いも非常に大切。困っていることを、繋いでもらったり、行政か他のところかどこに繋げると良いのかのアドバイスをいただける。

地域のコミュニティがしっかりできていれば、思わぬところで、そういったアドバイスをいただける。

・いろいろ繋がっていくことによって、思いもよらないような動きっていうのができる。それが、今はすごくコミュニティとして少なくなっている。

・常に学んでいく、学ぶ姿勢を見せていくっていうのを、やはり大人のほうが見せないといけない。

・大人になっても、自分が学んでいけないといけないから学ぶ、まだまだ学んでいくことはいっぱいあるという姿勢を、子どもや自分より若い年代の人たちに見せていくという姿勢が、次の一歩を出す姿勢に繋がっていく。

会長：

ありがとうございます。

それぞれのグループで出たことをそれぞれ代表して発表していただきましたけれども、意見を聞いて、課題の共通部分を見つけ出したいなと思うんですけれども、そのことについて、自分のグループや別のグループの意見を聞いて、ご意見ございましたらお願いしたいなと思います。

何か感じられたことございますか。

委員：

やっぱり「祭」っていうのがコミュニティとして自覚され、皆さんのご意見中で共通している大きなテーマかなというふうに思います。湖南省の場合、祭りのある在来の集落、それとまったく祭りのない団地が混在して、湖南省の文化そのものができ上がっている。その特色があり、湖南省ならではのコミュニティを良くしていくというのが、大事なことではないでしょうか。

やっぱり滋賀県のテーマ「地域への愛着と誇りを育てる社会教育」っていうことになってきますと、やっぱり皆わかっているんじゃないかな。

伝統文化っていうものを取り上げるのが、一番適切な方法ではないかと思います。

伝統文化と、そしてそれを取り巻く人たちの姿ではないかというふうに思います。

会長：

そのほかどうでしょうか。

時間も大分きておりますので、それぞれのかたから発表していただいたことっていうのは本当に共通して課題になっていくところ、特に今、委員からも言っていた伝統とか文化がどういうふうに湖南省の独自のものとして扱っていく、というようなことを一つのテーマとしてあるかなというふうに思います。

今話し合っていたことや、この場で共通理解をした部分について、次回の会議では、何とかそれを、解決というか、何とか解決の道筋を考えていければなあというふうに思いますので、次回は多分事務局の方で出てきたものはまとめていただきたいと思いますので、そのことをもとに、次回、年度変わって、それを湖南省としてどういうふうに発展・解消していけるかというようなことを考えていきたいというふうにしていきたいと思いますが、それでよろしいでしょうか。

(異議なし)

ありがとうございます。

次に、2年間の取り組み内容について、今後の日程やすすめかたについて、事務局のほうから説明のほうをお願いします。

事務局：今後の事業等の予定（案）についての説明

会長：

事務局のほうから説明がありましたが、委員のみなさまからご意見等はありませんか。

(意見等なし)

意見等がないようですので、事務局の説明のとおりすすめることとしてよろしいですか。賛成のかたは挙手をお願いいたします。

(全員賛成)

全員賛成ですので、事務局説明のとおりといたします。

審議会においては多くの委員のかたからご意見をいただきたいと考えております。

社会教育委員、生涯学習審議会委員として、様々なご意見に対しても、相互で話し合いのできる場となるよう、皆様のご協力をお願いします。

4 その他

閉会

会長：

これをもちまして令和4年度生涯学習審議会第2回会議を閉会します。

【閉会 20：30】